

ASHIGIN

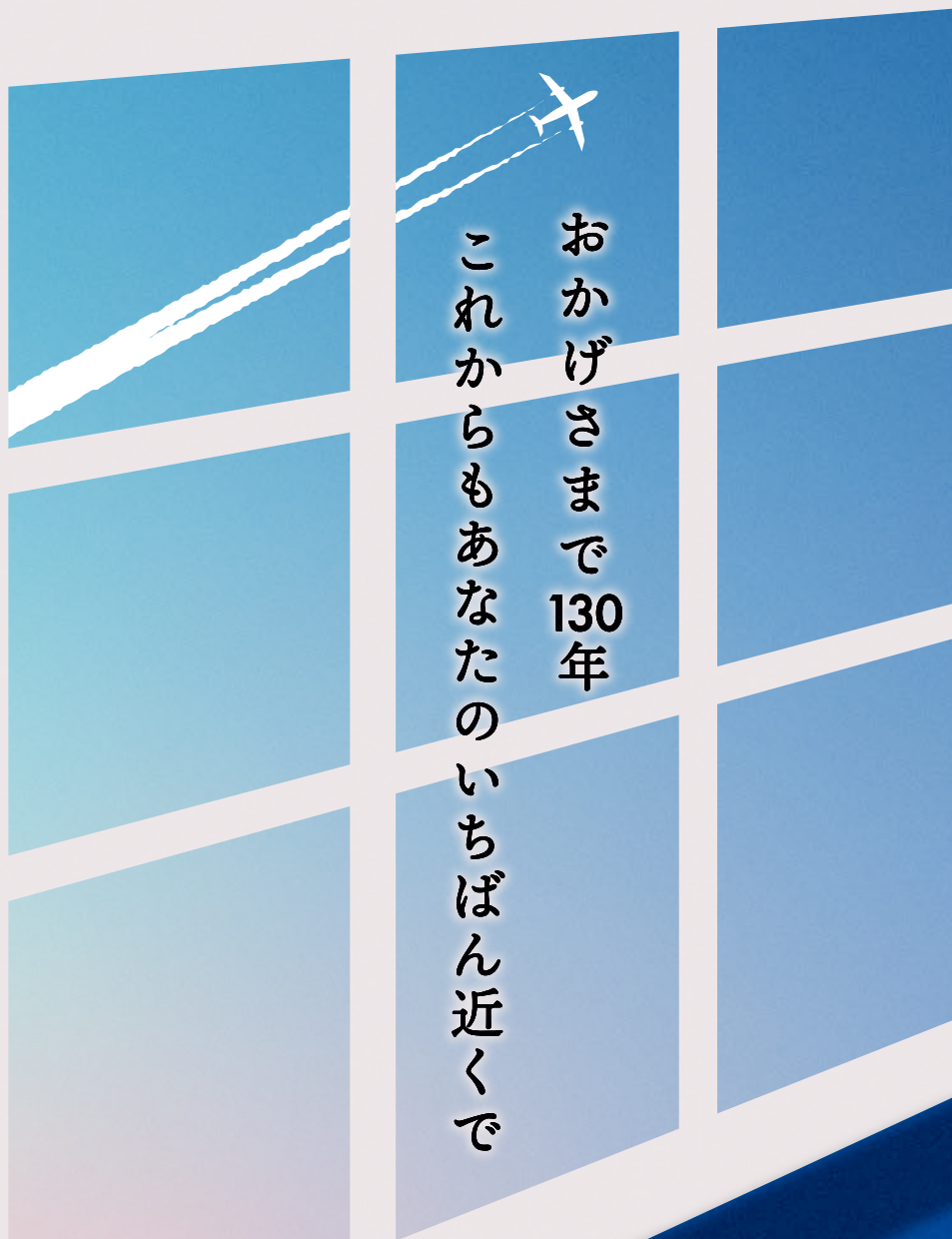
Report

ASHIGIN
Report

2025

2025 2026

10→9



特集

- 地域と共に歩んだ130年
- CSVを実現する
自主経営型部店運営への変革

TOP MESSAGE

お客さまと共に築く 次の価値創造へ

130年の感謝を胸に、共に未来を創る。

株式会社 足利銀行
取締役頭取

清水 和幸



創業130周年に感謝を込めて

足利銀行は、2025年10月1日、創業130周年を迎えることができました。

創業時から「足利銀行」という名前が変わることなく、長い歴史を今日まで積み重ねてくることができたのは、ひとえに、お取引先のお客さま、地域の皆さまからの永年にわたる温かいご支援の賜物であり、心より感謝申し上げます。

しかし、この歴史に安住しているわけにはいきません。これからもお客さまからの信頼に応えていくためには、改めて歴史を振り返ったうえで、当行の行動指針である「お客さま志向」と「当事者意識」のもと、CSV経営を追求していくことが重要だと考えています。

自走する組織で、CSV経営を 追求していく

私は頭取に就任して以来、CSV経営を推進してきました。CSV (Creating Shared Value) とは、「共通価値の創造」と

訳され、お客さまの課題を共有し、共に解決した先に私たちの成長がある、ということです。お客さまの課題を解決することが社会的価値であり、そのうえで私たちの利益をあげることが経済的価値。その共通価値の創造を、私たち全員が同じベクトルで進めていくことが当行の経営ビジョンです。

この経営ビジョンを追求していくため、2024年10月に営業店の運営の在り方を抜本的に変え、「自主経営型」へと移行しました。各営業店が全員参加でディスカッションを行い、年齢・性別・職位に関係なく一人ひとりが意見を出し合い、ありたい姿を議論します。

その地域のお客さまが求める将来を想い、取り組むべき分野や行動を営業店の経営方針としてまとめ、営業活動の基軸としています。こうしたプロセスを経ることで、営業店における経営方針への納得感が生まれます。一人ひとりがやりがいをもって自律的に行動しCSVを実現していくこと、これが自主経営型へと移行した目的です。

手間のかかるプロセスではありますが、変化は着実に現れています。最近ではお客さまのお役に立つために自己研

鑽の必要性を感じ資格取得に励む行員が増えるなど、意識や行動の変化が見えています。

社会課題の解決に向けて

お客さまが直面されている課題は多岐にわたります。これらの課題解決のためにさまざまなサービスを提供しておりますが、足利銀行でできることは、自前で解決手段を提供したいと考えています。

法人のお客さまに対しては、お客さまの強みや課題などを分析してお客さまの成長につなげる「事業性評価」をしっかりと行ったうえで、お客さまに本当に喜んでいただける解決策の提供に本部と営業店が一体となって取り組んでいます。例えば、人材・人手不足への対応としては、2019年に免許を取得して、お客さまに人材の紹介を行っています。また、デジタル化への対応では、投資専門子会社を通じて出資している地域のウェブ・ポータルサイト開発会社とタッグを組み、お客さまのシステム全体を把握したうえで、システム連携による効率化・高度化、そして省人化につなげるお手伝いをしています。

個人のお客さまには、お客さまに応じたポートフォリオのご提案をしていきたいと考えています。遺言信託も銀行本体で取り扱えるよう免許を取得し、自前で遺言執行まで行える態勢を整備しました。高齢化に伴う認知症やMCI (軽度認知障害) の方も増えてきています。家族の同意があれば払い出し可能な信託機能も導入するなど、お客さまが安心して金融取引ができる金融機関を目指しています。

これからの未来に向けて、役職員一同、より一層地域の皆さまの期待と信頼に応え、地域経済の発展に寄与し続けてまいります。引き続き、足利銀行へのご支援・ご愛顧を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

Index

トップメッセージ	01
【特集】地域と共に歩んだ130年	03
【特集】CSVを実現する 自主経営型部店運営への変革	05
あしぎんの取り組むソリューション	07
人生100年 長生き時代だからこそ！	09
サステナビリティへの取り組み	11
グループ総合力の発揮	13
めぶきビジネスアワード入賞企業	15
営業エリアのご案内	19
会社概要	21
数字で見る足利銀行	22

地域と共に歩んだ130年

1895

足利地方の織物業は、輸出向け織物の急速な増加によって生産が飛躍的に伸展し、生産様式も近代的大規模工場経営への転換が進められ、資金需要が著しく増加。

織物業をはじめとする商工業者の資金需要に応えるため、地元有志の出資により**私立銀行**として設立。



資金の都合から初代頭取の親族宅を借用

1897

▶第1号支店 桐生支店開設

1927

▶栃木県金庫事務取り扱い開始

1908

[2代目本店落成]

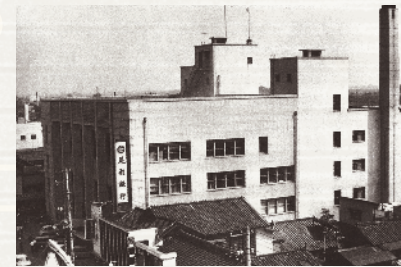


1920

▶佐野銀行を合併

1958

[3代目本店改築(現足利商工会議所)]



1944

昭和11年 政府が
“一県一行主義”を表明

大正9年の佐野銀行合併を皮切りに、栃木・埼玉両県下の6行を合併、営業を譲り受けた銀行は12行となり、昭和18年普通銀行で貯蓄業務の兼営が可能となったことから、昭和19年下毛貯蓄銀行を譲り受け、**当行の栃木県における普通銀行の一県一行体制が完成。**

1967

栃木県内の経済は著しく発展。県内金融の中枢機関となっていた当行の役割はさらに大きくなり、本店を県都宇都宮市に移転すべきとする声が起こる。

[本店を宇都宮へ移転(4代目)]



取引層もこれまでの繊維中心から多面的な業種・分野へと拡大変化。業容の拡大と地元の発展に貢献すべく、名実ともに栃木県の中心である**宇都宮市に本店を移転。**

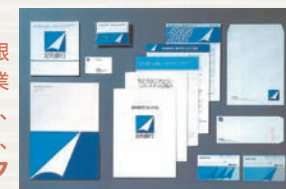
1988

▶「栃木県経済同友会」設立
▶栃木県内初のシンクタンク「財団法人とちぎ総合研究機構」設立

1985

金融の自由化の進展、情報システムの発達など、人々の暮らしの中での銀行の役割の機能が変化。

▶CIシステム導入
時代とともに歩む銀行としての新しい企業イメージ確立のため、CIシステムを導入し、**新しいシンボルマーク「ウイングA」を制定。**



▶「財団法人あしぎん国際交流財団」設立

1973

▶CD(キャッシュディスペンサー)設置開始

2000

▶「あしぎんインターネットバンキング・モバイルバンキングサービス」取り扱い開始

金利や業務の自由化の進展に合わせて広告の自主規制も緩和し、銀行のテレビコマーシャルが解禁。

1991

1月1日より関東エリアを対象に**CM放送を開始**。当行名(アシカガ)と語呂を合わせてアシカを起用し大きな話題を集めた。全日本CM協議会の「'91年CMフェスティバル金融・保険・不動産部門」で最優秀賞を受賞。



1998

▶投資信託窓口販売業務開始

2002

▶確定拠出型年金取り扱い開始
▶生命保険窓口販売業務開始

2003

▶特別危機管理開始決定

2004

▶委員会等設置会社へ移行

2009

▶銀行本体発行クレジットカード「GOODYカード」取り扱い開始



▶がん保険、医療保険、一時払終身保険の販売開始
▶あしぎん総合研究所設立

2008

▶足利ホールディングス設立
▶特別危機管理終了
足利ホールディングスによる足利銀行の完全子会社化

2010

▶金融商品仲介業務開始

2015

▶香港駐在員事務所開設

2011

東日本大震災への対応

休日相談窓口、休日相談専用ダイヤル設置等被災した方々の相談へ迅速に対応。栃木県への災害復興義援金寄附、放射線測定装置寄贈、観光復興PRキャンペーン支援等実施。

2013

▶足利ホールディングス東京証券取引所第一部に上場

2016

足利ホールディングスと常陽銀行が経営統合し、**めぶぎフィナンシャルグループを発足。**



両行が共通の理念のもと、より広範な視点から地域の課題解決に臨むことにより、単独で事業運営する以上の力を発揮し、豊かさの創造を実現していくことが有効かつ有益と判断。

2017

▶バンコク駐在員事務所開設

2019

SDGsが2015年国連サミットで採択。関連支援商品の取り扱いを開始。

「あしぎんSDGs私募債」(2019年)
「SDGs宣言書策定支援サービス」(2022年)等

▶人材紹介業務開始
▶信託業務(遺言信託・遺産整理業務)の自行取り扱い開始

2020

▶個人向けコンサルティング業務に特化した営業店「ブロック個人営業部」を設置
迅速に適切なご提案・アドバイスが実践できる体制を実現。
▶栃木県「新型コロナウイルス感染症対策医療従事者応援寄附金」へ寄附

2022

▶「カーボン・マネジメントコンサルティングサービス」取り扱い開始

事業活動によって排出される温室効果ガス排出量の算定から削減目標の設定、削減まで脱炭素化を支援。

▶栃木県の地元企業との共同出資により地域商社(株)コレトチ設立

▶「りょうもう地域活性化パートナーシップ」締結

足利銀行と群馬銀行が主要かつ重要な営業エリアと位置付ける両毛地区において、互いのノウハウを共有し協業することで、地域の活性化に大きく貢献することを目的とした取り組み。

りょうもう
地域活性化
partnership

2021

▶「足利銀行アプリ」の提供開始
▶投資専門子会社(株)ウイング・キャピタル・パートナーズ設立
▶金融商品仲介専門子会社(株)あしぎんマネーデザイン設立

2023

▶株コレトチが電力事業に参入
再生可能エネルギーの地産地消を進め、カーボンニュートラルへの取り組みを支援。

2025

▶「健康経営支援サービス」の取り扱い開始

人材不足が深刻化する中、人材確保・定着に向けた企業価値向上の取り組みを支援。

2024

▶「グリーン預金」の取り扱い開始
▶生成AI「ChatGPT」の活用開始

CSVを実現する 自主経営型部店運営への変革

大宮支店

風通しの良い環境づくりと意識統一

“なぜ、取り組むのか？”全員が理解できるまで

大宮支店に赴任したのが「自主経営型」の部店運営が始まった2024年です。その時、みんなに伝えたことは、「支店長の一番の仕事は、みんなの話を聞くこと」ということです。もちろん、私からも声はかけますが、「席に座っているときは話を聞けるので、何でも話してほしい」と話しました。当店は若手が多いので、風通しの良い環境をつくりたいという思いでした。

また、最も時間をかけて取り組んだのは、「CSV(共通価値の創造)」とは何か

「なぜ、CSVに取り組むのか」を全員に理解・浸透させることです。勤務形態もさまざまなので、面談時や日中に時間を作るなど丁寧に説明を繰り返しました。それぞれ立場も違う、銀行で働く目的も違うので、どうすれば浸透するのかをとにかく考えていました。こうしたプロセスをしっかりと踏んだことで、ディスカッションできる土台を整えることができたと感じています。全員がそうした大前提を理解したうえで“支店のあるべき姿”や方針を話し合うことができていますので、活発で建設的な時間になっています。

「自律的な行動」を生む対話とディスカッション

成功体験が若手の成長を加速させる

当店では、自らの強みや弱みをディスカッションする中で、「これはこだわろう」と決めた4つのキーワードがあります。その一つが「スピード」で、例えば、取引先担当者であれば、案件の方向性や提案内容をその日のうちに一緒に決める「エブリデイクリア」に取り組んでいます。担当者は自信をもって次の行動ができ、お客さまへもスピーディな回答ができます。お客さまからも「あしぎんは一番レスポンスが早い」との声をいただいています。こうした日々の積み重ねが達成感や自信を生み、自律的な行動につながっていくのだと信じています。当店の若手は本当に活気があり、過去のやり方に捉われない前向きな発言も多くなりました。

目指す姿は「サッカー型組織」

役割を超え柔軟に補完し合いながら全員でゴールを目指す

横の連携を強化したいという意見から、「サッカー型の組織」を目指しています。それぞれ役割は持ちつつも、状況に応じて柔軟に役割を変え、みんなで連携・協力してゴールを目指すというものです。

当店では、営業(店頭)、渉外(融資・取引先担当)のグループを超えた委員会活動を行っており、その活動は営業推進だけでなく、美化活動や研修、社会貢献といった広範囲に及びます。全員が同じ方向を見ているので、異なるグループでも課題の共有や方針の検討がスムーズに行えています。

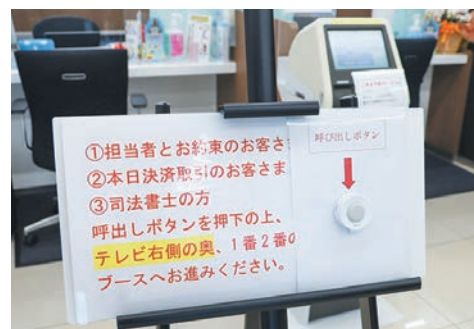
今後も、あらゆる場面で対話とディスカッションを大切にしながら、みんなでより良い大宮支店をつくっていききたいと思います。



大宮支店 支店長 木村 弘



支店長が「席に居る時は自由に相談して良い」ことを明示。担当者が案件に一人で悩むことがなくなった。



人数が少ない中でも「お客さまに心地よく利用していただけるように」と、委員会が出たアイデアで設置した案内板。

壬生ブロック個人営業部

自主経営型になって変わったこと

神山 今までは、与えられた目標に取り組む、というのがベースだったので、自主目標と言われた時にどのように決めていくんだろうというのが正直な気持ちでした。部店の“あるべき姿”や方針を決めるにあたって、SWOT分析したことは大きかったかな。

加藤 自分たちでずっと得意だと思っていたことが、実際に話し合いを進めていくと意外とそうではなかった、とか。いろいろ振り返ることができて、強みと弱みが浮き彫りになりましたね。

早川 私を含め、若い世代が意見を言いやすい環境を普段から作ってもらっていたので、自分たちの意見を言いやすかったです。

小松 自分たちで決めた目標だからこそ、やらなくては、という意識は強くなりました。プレッシャーはあるけど、ネガティブな感情ではないです。

神山 楽観的というか、前向きな人が多いというのもあるけど、チャレンジ的な目標でも、「このチームならやれる」と思えるよね。

加藤 部長も「できない理由よりできる工夫だ」と常に言っていて、取り組みマインドのベースになっていますね。



小松 右京

早川 千絢

加藤 早記

神山 哲哉

目指すべき組織・自身の姿とは

神山 取り組みのベースにあるのは「お客さまの役に立つ」ということ。そのためにはお客さまをよく知ることが大切で、それを蓄積していくことが銀行の財産になると思っています。

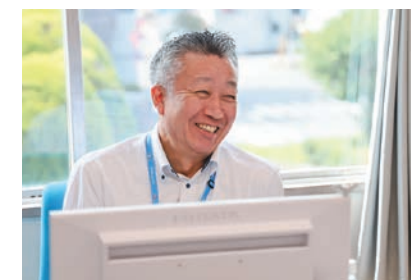
早川 自分自身のスキルを磨くことも大切だと思っています。私は研修担当でみんなに資格取得の声掛けなどを行っているのですが、各自でお客さまのためになる資格を調べて通信講座を受講したり、自分自身のスキルアップに取り組むようになりました。

小松 私は頼られる銀行員になりたいと思っているので、幅広い知識はもちろん、専門知識も高めて提案力を磨き

たい。そういう面でもみんなが高め合っている組織にしていきたいですね。

加藤 お客さまの役に立つ仕事をするのは当たり前だと思うので、自身のスキルを高めることで「加藤さんに言えば解決してくれるよ」とお客さまが新たなお客さまを呼んでくれるような仕事をしたい。それがお客さまに本当に評価されていることかなと思います。

神山 今まで自分が経験してきたことで役に立つ部分はどんどん若い人達に伝えていきたいというのが一番。あとはみんなが楽しくできればと思います。



お客さまと接している担当者の感覚を大切にしたいという前田彦彦部長。



それぞれが個性を活かして伸び伸び仕事ができる環境がある。

あしぎんの取り組むソリューション

事例紹介

今が始め時！ 情報セキュリティ対策サポート

大手企業との継続的な取引や新規案件を獲得していくうえで、必要不可欠となっている情報セキュリティ対策。経営と情報セキュリティの視点で、お客さまが理想とする姿の定義から必要な対策要件の整理、導入、定着まで支援いたします。



株式会社三光精密

2025年 4月 >>> 6月

診断・対応方針の検討

- 現状のヒアリング
- 情報セキュリティ基準の内容確認および達成状況分析
- 未達基準達成に向けた対応方針の整理



あしぎんのサポート お客さまの現状を理解することがセキュリティ対策の第一歩です。お客さまだけでなく現行システム会社も含め、ヒアリングを綿密に行います。



生産技術課
長田 淳史 課長

100項目以上ある基準は、専門用語も多く、難解でした。手塚さんは本当に詳しく、分かりやすく説明してくれたので、現状を正しく認識し、求められている対策要件を理解したうえで必要要件の達成状況をしっかり認識することができました。

7月 >>> 9月

規程・ルール整備

- 情報セキュリティ基本方針、組織体制等の規程、システム資産シートの作成
- セキュリティインシデントへの対応実施手順の作成

あしぎんのサポート 情報セキュリティに関する各種規程・ルールを作成します。



小野 克広
専務取締役

当社の現状を深く理解してもらえたことで、情報セキュリティ基準に準拠しつつ、当社の運用に則した規程を作成することができました。お客さまに安心してお取引いただくために全社統一の規程を整備できたことは一番の成果だと思っています。

10月 >>> 2026年2月

セキュリティ対策の強化

- 電子媒体やサーバー等の管理体制の対策
- インターネット閲覧制限や無線LAN設定等の見直し

あしぎんのサポート 追加に必要なセキュリティ対策の強化をサポートします。



生産管理課
吉原 淳 課長

これまでの取り組みを見直し、必要な対策を行うとともに、情報漏洩やウイルス感染などのセキュリティインシデント発生時にも、業務継続できる体制づくりを進めていきます。



代表取締役
猪爪 健

お客さまの機密情報をお預かりする企業として、必要な対策を網羅することができました。足利銀行の行員さん自身が支援担当になるとは思っていなかったので正直驚きましたが、豊富な知識と丁寧な説明で、安心して取り組むことができました。

3月 >>>

運用定着

- 対策内容の振り返り
- セキュリティ訓練の実施
- 運用状況の確認と定着に向けたフォローアップ

あしぎんのサポート 運用状況を確認しながら、定着に向けたフォローアップを行います。

法人コンサルティング部 本業支援室
IT支援担当
手塚 隆充

まずはご相談を

対策が必要と分かっている、何から始めれば良いかわからないといったお声をよく聞きます。お客さまの状況に合わせて、オーダーメイドで対応しますので、まずはお気軽にお声がけください！



会社概要

株式会社三光精密
(栃木県日光市)
設立 | 1979年
業種 | 精密板金加工業



グループ会社や外部提携企業とも連携し、多様な解決手段をご提案します

【関連会社】あしぎん総合研究所／ウイング・キャピタル・パートナーズ／あしぎんマネーデザイン／コレトチ
詳しくは P13-14へ>>

お客さまが直面されている課題は高度化し、多岐にわたっています。お客さまとの深い対話から、お客さまの強みや課題をよく理解すること。そのうえで私たちがお手伝いできることは何か。足利銀行には、お客さまのさまざまなお困りごとにお応えできるソリューションがあります。

事例紹介

より活力ある企業へ 健康経営支援サービス

従業員の健康の維持・増進を経営戦略の一つとして取り組む「健康経営®」※1への関心が高まっています。健康経営エキスパートアドバイザー資格を有する行員が「健康経営優良法人」※2の認定取得に向けた取り組みを支援いたします。

※1「健康経営®」…NPO法人健康経営研究会の登録商標です。
※2「健康経営優良法人」…経済産業省が2016年に創設した制度にもとづき、「優れた健康経営に取り組んでいる企業」として日本健康会議（経済界・医療関係団体・自治体のリーダーが連携して2015年に発足した組織）が認定した法人。

〈取組第1号〉株式会社アヤラ産業

従業員が“心身ともに健康”で 安心して働くことができる組織をつくる



出発点は、「従業員みんなに心身ともに健康で働き続けてほしい」という想いでした。企業が成長し、従業員が増えていく中で、仕事へのさまざまな価値観を受け入れ、尊重できる環境づくりが必要だと

感じていました。「健康経営」は、健康診断の受診促進や残業時間削減のみならず、一人ひとりの“ありがたい姿”に近づけるように支援する取り組みにもつながっています。こうした取り組みを対外的に発信することで、会社の姿勢を広く知ってもらうとともに、従業員みんなに安心して働ける環境だと実感してもらいたい。従業員が個性を活かして新しいことに挑戦できる企業に成長していきたい。そして何より、地域を盛り上げたい。成長した分、地域に還元できる企業を目指していきたいです。



◀「AKV (Ayala Kyono Village)」
旧興野小学校の跡地を地域の交流拠点に

スポーツを通じた地域おこし▶
那須烏山市のマラソン大会
参加の様子



代表取締役
中村 恵之

取締役 管理部
中村 泉 部長

キーワードは「健康経営」 潜在的なSOSが拾える仕組みに



従業員の健康管理や精神面のフォローを私一人で請け負っている部分が多くありました。取り組みを進める中で、健康づくり担当者など一緒に推進していく人を選任したことで、管理・確認などを任せ

ることができるように、「健康経営」をキーワードに、前向きに取り組むことができています。

会社が目指す姿を明示したことで、従業員が悩みを相談しやすくなり、早い段階で手を差し伸べることができるようになりました。日々の小さな声に耳を傾ける仕組みが大切です。認定取得の申請手続きでは、プロの力を借りることで進むべき方向が明確になり、遠回りすることなく、一つ一つ着実に進めることができ、心強かったです。

法人コンサルティング部 本業支援室 サステナビリティ経営支援担当
健康経営エキスパートアドバイザー

小川 富美子

健康経営がもたらすもの

人口減少が進む中で、人材の確保・定着は多くの企業で経営課題となっています。「健康経営」に取り組むことは、健康に働く従業員が増え、働きやすい職場環境が整うことで組織全体が活性化し、企業業績や企業価値の向上につながります。お気軽にお声がけください。



会社概要

株式会社アヤラ産業
(栃木県那須烏山市)
設立 | 1990年
業種 | 汎用機製造業



人生100年 長生き時代だからこそ！



こんなお悩みや心配ごとにしっかり応えます！

- ✓ 子がなく配偶者に全財産を渡したい
- ✓ 生涯独身で身近な兄弟に遺したい
- ✓ 遺産分割協議の苦労を軽減してあげたい
- ✓ 子が遠方におり相続手続きの負担を軽減してあげたい

遺言信託

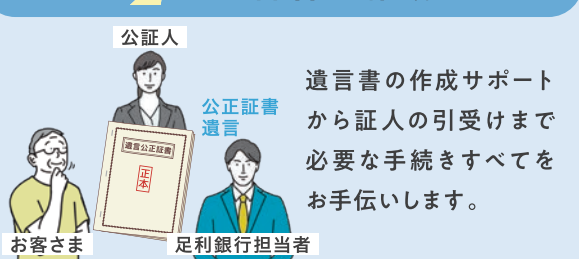


一生をかけて築いた大切な財産。いずれ相続という「かたち」で引き継がれます。相続の「話し合い」や「手続き」など、ご家族のご負担は大きいものです。かけがえのないご家族にできること「遺言」で想いを「かたち」に...

1- 事前のご相談



2- 遺言書の作成



3- 遺言書の保管



4- 遺言書の執行



個人コンサルティング部 プライベートバンキング室
石島 重里

ご自身の想いを確実に次の世代につなぐため、お客さま一人ひとりに寄り添い、安心を形にするお手伝いができるよう取り組んでいます。「これで心配事が減りました」と笑顔をいただける瞬間は、私にとって何よりのやりがいです。

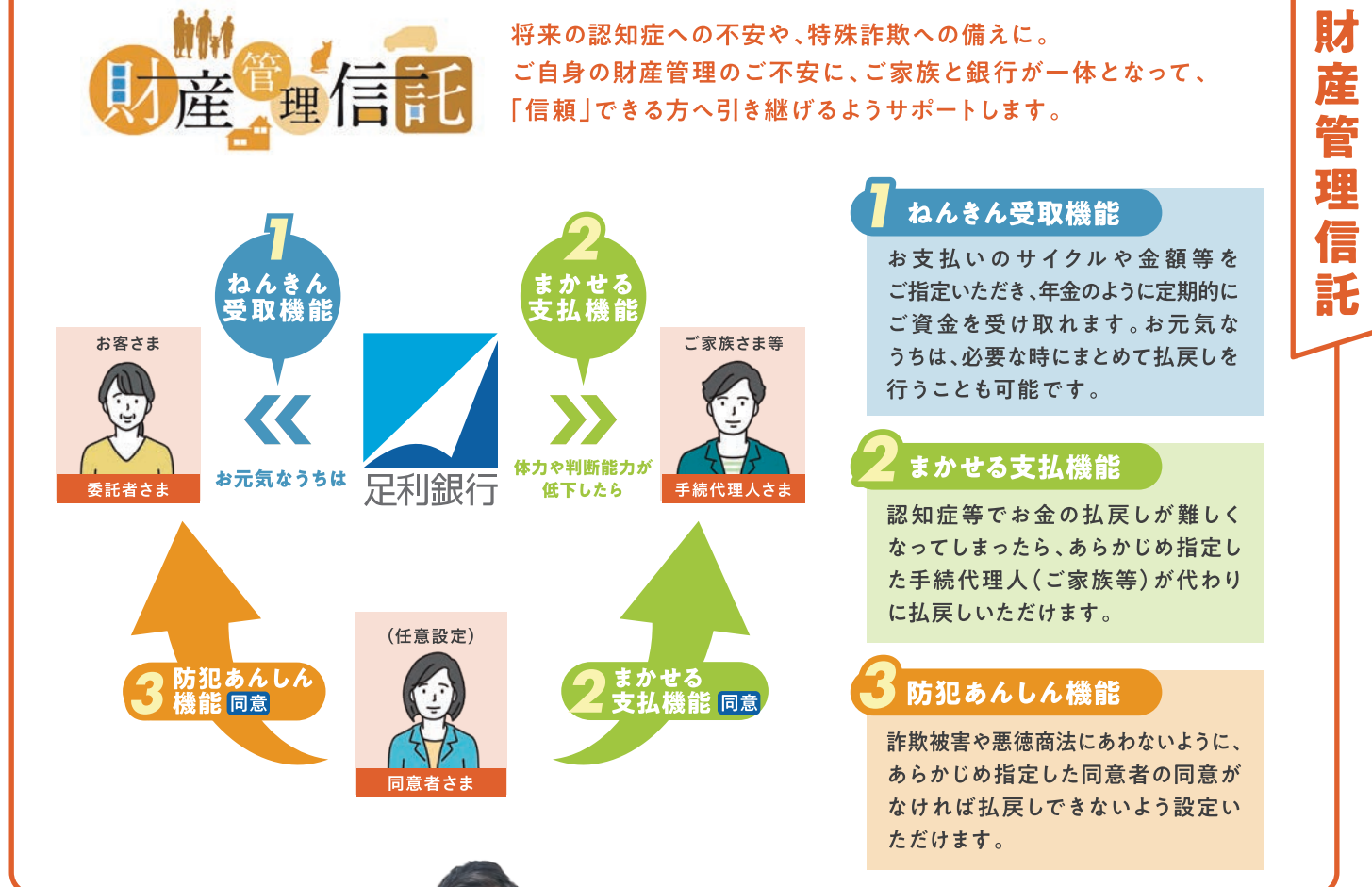
あしぎんが

解決します！



個人コンサルティング部 プライベートバンキング室
押山 直樹

私たちのサービスが相続や財産管理に対する不安を軽減できることは、非常に重要な役割であると実感しています。お客さまやご家族から「これで将来が安心できる」とのお言葉をいただくことが多く、その一言が私の励みとなっています。



財産管理信託

あなたのストーリーの隣にいたい

お客さまご自身からご家族まで、お客さまの人生に関わるあらゆることに寄り添い、サポートしていきます。

30代

子育て・住宅取得世代

消費

マイホームの借入計画はしっかり立てましょう。マイカーや教育資金のお借入れはスマホ完結が便利！

運用

余裕資産は、運用によってしっかりふやしていきましょう。長い時間をかけることでリスクを分散できます。

形成

早い段階から資金準備することで、将来に向けて無理なく備えることができます。

~20代

独身・共働き世代

>> 資産をそだてる >>

40代

子育て・住宅取得世代

管理

長い老後を快適に過ごすため、資産管理の方法や生活サポートサービスの活用を考えましょう。

50代

退職準備世代

>> 資産をまもる >>

介護

ご自身、ご家族の介護に備えたお金の準備を考えましょう。

承継

ご家族へ円滑に想いをつなぐためには、早めの検討が大切。一緒に考えていきましょう。

60代

退職・セカンドライフ世代

相続

大切な資産の遺し方について、資産全体で考えることで課題と対策が明確にできます。まずはあしぎんにご相談を。

70代~

退職・セカンドライフ世代

>> 資産をのこす >>

あしぎんのサステナビリティへの取り組み

足利銀行では、地域と当行が共に成長していくためのさまざまな取り組みを進めています。

気候変動・環境保全



あしぎん創業130周年 SDGｓ私募債「環境保全貢献債」取り扱い開始

2025年4月より、「あしぎん創業130周年SDGｓ私募債『環境保全貢献債』」の取り扱いを開始しました。当行がいただく手数料の一部を、栃木県・群馬県・茨城県・埼玉県の環境分野の基金に寄付することで、地域のSDGｓへの取り組みに貢献していきます。

株式会社コレトチにおいて初となる 太陽光発電設備の導入 電力供給を開始

コレトチが電力供給契約を締結した栃木県有施設において、2025年4月より再生可能エネルギー電力の供給を開始しました。

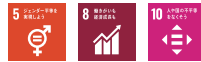


栃木県水産試験場

「グリーン預金」取り扱い開始

お預け入れいただいたご資金全額を環境改善に資する融資に充当する「グリーン預金」の取り扱いを開始しました。本商品を通じて、環境問題の解決に向けた取り組みに貢献できます。

ダイバーシティ



「プラチナくるみんプラス」 認定取得

子育てと仕事を両立しやすい職場環境の整備に、高い水準で取り組む企業として、厚生労働大臣より「プラチナくるみんプラス」認定を受けました。



ビジネスカジュアルの拡大

本部に勤務する従業員を対象としていたビジネスカジュアルを、2025年4月より、営業店に勤務する従業員にも拡大しました。



「めぶきジェンダー ダイバーシティ会議」の開催

2025年7月、女性が活躍できる職場環境に向けた取り組みや課題について意見交換を行うことを目的に、めぶきFG、足利銀行、常陽銀行の女性社外取締役の発案により、初めて開催しました。



高齢化への対応

◆高齢期を安心・安全に



高齢者のご家族のお困りごとへのワンストップサービス

資産承継・管理	
遺言信託	遺産整理
財産管理信託	資産承継プランニング
リバースモーゲージ型住宅ローン 他	

生活サポート	
見守りサービス	家事代行 他

特殊詐欺被害防止に向けた栃木県警察との連携



2025年3月、栃木県警察と「特殊詐欺等の被害防止に関する情報連携協定」を締結しました。

自治体・警察署との「スマホ講習会」



高齢の方にもスマホを安心・便利に活用いただくため、自治体や警察署と連携した講習会を開催しています。

経済

あしぎんSDGｓスポーツ債を 通じた栃木県への寄付

寄附サービス付私募債「あしぎんSDGｓスポーツ債」2024 とちぎスポーツ未来債』を通じて、栃木県へ寄付を行いました。

[起債企業15社、寄付総額 320万円]
※取扱期間：2024.4.1~9.30



ものづくり企業展示・ 商談会2024

栃木県内の信用金庫、信用組合等と共催で、第14回目となる「ものづくり企業展示・商談会2024」を開催しました。

[出展社数 190社、予約商談件数 214組
来場者数 約1,400人]



SDGｓ宣言書策定支援サービス

お客さまのSDGｓへの取り組み状況の可視化や目標設定の支援を行っています。お客さまのSDGｓ宣言書は、当行のホームページで公表しています。

[宣言書策定完了先 2,619社]
(2025年7月末現在)



「SDG宣言書」イメージ

新規ビジネス 開発プロジェクト2024

従業員を対象に、地域とお客さまの課題解決につながる事業アイデアコンテストを例年開催しています。2024年度は、広告関連事業や動画サービス、eスポーツ活用などが採択され、事業化に向けた検討を行っています。



eスポーツイベントへの参加

社会



学生への金融教育授業

貯蓄と投資の違いや資産形成の大切さについて講義するほか、ゲームを通じて金融リテラシーの向上に取り組んでいます。



宇都宮東高等学校附属中学校

LRTのラッピング車両に パスカル&ファミリー デザインが登場！

LRT車両にパスカル&ファミリーのデザインをラッピングしました。当行のコーポレートカラーであるブルーを基調とした鮮やかな車両となっています。



芸術分野における 次世代の育成・支援

若手芸術家の発表機会の創出と地域の文化振興に取り組んでいます。創業130周年を記念し、2025年度は2点の作品を購入し、本店内に展示しました。



浅井 沙弥香さん(左) 石川 理恵さん(右)

スポーツによる 地域活性化

スポーツが生み出す夢や感動が地域活性化につながるものと考え、地元プロスポーツチームへの協賛などスポーツ振興を積極的に行っています。



あしぎん創業130周年記念
足利銀行 130 SPECIAL MATCH
2025.7.30 TOCHIGI SC vs SC SAGAMIHARA
栃木サッカークラブ

デジタル



個人ローンWEB受付システム 「WELCOME」の導入

個人ローンWEB受付システム「WELCOME」を導入しました。来店不要で時間に捉われることなく、必要書類の受け渡しや審査結果の確認もWEB上で行うことができます。



足利銀行アプリ 登録者数60万人突破

2025年5月、足利銀行アプリの登録者数が60万人を突破しました。2021年3月の提供開始から、お客さまの暮らしを便利に支えるツールとしてご利用いただけるよう機能の追加・改善に取り組んでいます。



キャッシュレスの普及・推進

キャッシュレス納税、手形・小切手の電子化等について、栃木県内の公共団体や金融機関、民間団体など、広く連携・協働しながら、決済のデジタル化を推進しています。



AI技術による疑わしい取引の モニタリングの効率化・高度化

特殊詐欺やマネー・ロンダリングなどが疑われる取引の検知にAI技術を活用しています。過去取引を学習させることで検知の精度を高めるとともに、検知した取引のリスク判定にAIを活用することで、金融犯罪への対応強化に取り組んでいます。

グループ総合力の発揮（グループ会社紹介）



あしぎん総合研究所

（調査、コンサルティング、ソフトウェア開発業務 / 2009年4月設立）

調査・研究やコンサルティングを中心としたシンクタンク業務を通じて地域経済の持続的な発展に貢献すべく活動しています。

人材マネジメント支援では、従業員満足度調査や公正な人事評価制度の構築支援、オーダーメイド型の企業内研修、教育体系の構築支援など、多彩なサービスを提供しています。主に研修を担当していますが、まず、企業さまのさまざまな悩みにしっかり寄り添えるよう、事前ヒアリングを行います。そして、その企業の“今”に必要なカリキュラムをご提案し、従業員の皆さまが意欲的に仕事に取り組める職場環境づくりのお手伝いができるよう努めています。「人」に関するお悩みがございましたら、ぜひご相談ください。



地域開発事業部
栗原 香那子

人材育成研修の様子



地元スポーツイベントでのアンケート調査実施



WEBサイト



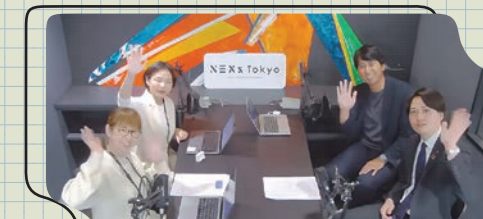
ウイング・キャピタル・パートナーズ

（投資業務 / 2021年2月設立）

運営ファンドからの投資を通じて、「事業承継支援」や「ベンチャー支援」に取り組んでいます。「事業承継支援」では、後継者不在等の事業承継課題を有する企業の株式を譲り受け、事業存続や企業価値向上の支援を、「ベンチャー支援」では、独自の技術やビジネスモデルを有する企業への投資を通じた事業成長支援や地域への拠点進出支援を行っています。お客さまの想いに寄り添い、お客さまの夢や目標を共に実現できるよう、主体的に熱意を持って全力で取り組んでいます。



ファンド事業部
高藤 将



スタートアップ支援団体が運営するラジオ番組への出演



自治体主催のピッチイベントへの登壇

WEBサイト



あしぎんマネーデザイン

（金融商品仲介業務 / 2021年7月設立）



業務運営部
室井 沙紀

あしぎんマネーデザインは、インターネットを活用したオンライン取引を通じて、さまざまな世代のお客さまにより身近に、より手軽に金融商品取引を行っていただきたいとの想いで設立した、金融商品仲介専門会社です。

対面ではお客さまに寄り添ったコンサルティングができますが、1日にお会いできる人数には限りがあります。オンラインでもお客さまに寄り添いたいという気持ちに変わりはありません。お客さまのお好きな場所やタイミングで始めていただけるので、特に若い世代の方や投資初心者の方など、はじめの一步を踏み出すきっかけとなる存在になりたいと思っています。

あしぎんマネーデザインの特長

- ◎銀行への来店不要！
- ◎簡単・便利にスマホやパソコンでお手続きが完了します！
- ◎金融商品の豊富なラインナップ。

WEBサイト



コレトチ

（地域商社業務、再生可能エネルギー関連業務 / 2022年8月設立）



電力事業部
近藤 祐介

地域製品の販売事業、新商品開発支援事業のほか、電力事業では、主に製造業や栃木県内の自治体に対してPPA（※）による電力の地産地消を推進しています。PPAは、2050年のカーボンニュートラル実現に向けて、再生可能エネルギー調達の手段として注目されており、PPAを活用した電力の地産地消は環境負荷を低減し、持続可能な社会の実現に寄与する重要な取り組みです。

私たちは、地域のより良い未来をつくるため、強い使命感を持って活動しています。

※PPA：太陽光発電事業者が太陽光発電設備を設置し、再生可能エネルギー由来の電気を購入したい需要家と電力購入契約（Power Purchase Agreement）を締結して当該太陽光発電設備で発電した電気を供給すること。

地域製品の販路開拓事例



「鹿沼産にら」を使用し、本来は廃棄される根本部分を漬物にした（株）おばねやの『にらねっこ』が地元ゴルフ場（鹿沼カントリー倶楽部）のレストランメニューで採用されました。

コレトチ企画のギフトセットカタログ



WEBカタログ



WEBサイト





第8回 めぶきビジネスアワード

足利銀行は、地域の皆さまと共に新産業・新事業を生み出し、地域経済の活性化につなげていくことを目的に、常陽銀行と「めぶきビジネスアワード」を開催しております。第8回目となる今回は、両行あわせて206件のご応募をいただきました。



受賞プラン

廃棄物をバイオマス資源に変換する 農工連携型の資源循環地域の創造



株式会社誠和。 代表取締役 大出 浩睦

PROFILE

1986年生まれ。信託銀行で金融業を経験した後、2016年に株式会社誠和へ入社。2021年に4代目代表取締役就任。50年以上続く伝統を大切にしながらも、誰もやったことがないことにこそ、「失敗を恐れず、まずチャレンジしてほしい。」と呼びかける。

会社概要

1971年設立。農業用ハウス向けの設備メーカーとして、高品質・高収穫を実現するハウス資材の開発・販売から栽培・流通支援など生産者のトータルサポートを行う。教育事業にも積極的に取り組み、農業者の育成を図っている。



農業×工業 廃棄物に価値を

産業間で資源循環を実現する 「施設園芸エネルギーデザインシステム」

清掃工場など工業系施設で排出されるCO₂は、活用されることなく大気中に放出するしかない。このCO₂を農業で利活用し、農業と工業を連携させた資源循環を広めようと開発されたのが「施設園芸エネルギーデザインシステム」だ。

開発のヒントとなったのは、佐賀市が約10年かけて実証した、清掃工場から排出されるCO₂を農業で利活用する世界初の資源循環事例。しかし、300以上の自治体が注目し現地視察したにもかかわらず、その多くが実行に移せずにいる。その要因について、大出社長は「事業者によって、言葉も単位も見ている世界が全く違う。異なる立場の視点で効果が分かる汎用的なツールの必要性を感じた」という。

本システムの最大の特長は、農工連携の資源循環によってもたらされる環境効果と経済効果を、農業者、工業者、自治体それぞれの視点で可視化できていることにある。「作物の成長原理である光合成にCO₂は必要不可欠。ごみの焼却時など排出せざるを得ないCO₂に、産業間の連携によって価値を生み出し、活用する流れをつくることができれば、食料問題だけでなく環境問題の解決にもつながる」と話す大出社長。

作物の光合成に、工業系施設から排出されるCO₂を活用するという資源循環の効果を、誰が見ても分かるようにすることで、工業系施設に農業用ハウスを集積させた資源循環地域をつくり、全国、世界へと取り組みを拡大させることを目指す。

2050年カーボンニュートラル社会の実現に向け、環境市場は拡大しており、廃棄物処理・資源有効活用分野における課題解決への期待は膨らむ。同社の取り組みが日本の農業の成長、脱炭素の推進にもたらす効果は大きい。

“農家のため”に50余年

誠和。だからこそできる脱炭素ソリューション

同システムの肝となる技術に「光合成モニター」がある。東京大学の特許をもとに同社が開発した技術で、作物のCO₂吸収量を数値化し、農業による脱炭素効果を可視化できる。

技術開発の背景には、同社が50年以上続く歴史の中で大切にしてきた「農家のためにできることを常に考える」企業姿勢にある。「自家栽培」に取り組み、生産者と同じ立場で、自ら作物を育てることで得られたデータや知見を製品開発や人材育成、確実なソリューションの提供に活かしている。この「光合成モニター」も、自家栽培で得た技術のデータ化に取り組んできた成果であり、まさに、作物の力を最大限に引き出す技術を追求め続けてきたからこそ生み出すことができた技術だ。

施設園芸エネルギーデザインシステム

01 農業用ハウスに必要なCO₂量等(エネルギー)を算出

- ☒ 農業用ハウスに必要な暖房熱量
- ☒ 光合成で利用されるCO₂量

≫ 過不足ないCO₂量を可視化

02 省エネ資材の活用により削減できるCO₂排出量等を算出

- ☒ 省エネ資材導入時の化石燃料の使用量・コスト・CO₂排出量

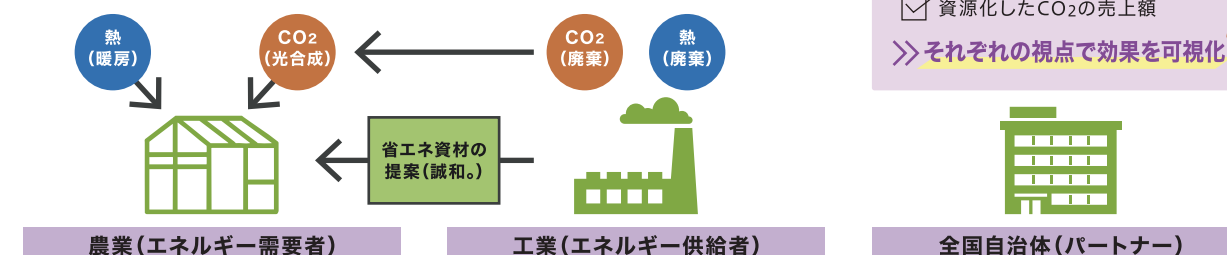
≫ 省エネ資材効果を可視化

03 農工連携による資源循環効果を算出

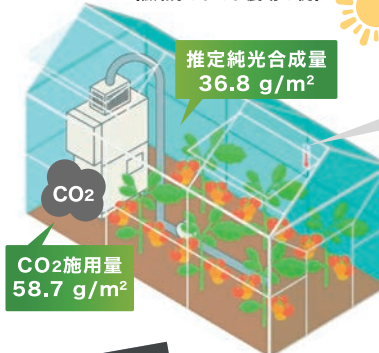
- ☒ CO₂排出削減量
- ☒ 作物によるCO₂吸収量
- ☒ CO₂排出削減量を植林本数や世帯数に換算

- ▼ 農業者の効果
 - ☒ CO₂等エネルギーコストの削減額
- ▼ 工業者の効果
 - ☒ 資源化したCO₂の売上額

≫ それぞれの視点で効果を可視化



1日の推定純光合成量
(誠和。のトマト農場の例)



技術の勘所

作物のCO₂吸収量を可視化する「唯一無二」の技術

「光合成モニター」

2023年8月に提供開始。長年培った栽培技術から、農業用ハウスで作物が吸収するCO₂量を計測できるソフトを開発した！

EPISODE

できたらいいね、で終わらせない！誰もやらないことに挑戦する勇気

この取り組みは、国内で農業一筋に事業を行ってきた同社にとっては業界を超え、国をも超えていこうという新しい取り組み。最初から理解が得られたわけではなかった。「世の中にないものだから、多分誰もその価値にまだ気付いていない。否定意見もあるが、多くは感覚的には良いと捉えている。それでも大体は“できたらいいね”で終わってしまう」と挑戦者ゆえの孤独と葛藤を語ってくれた大出社長。それでも挑戦を諦めない強い信念はどこから来るのか。

「日本の農業が世界に出ていく絶好のチャンス。日本の農業技術によって、ごみ処理問題、食料生産量の増加、地域活性化、雇用の創出、そして脱炭素につながる。日本の素晴らしい農業技術を世界に強く発信していきたい」と目を輝かせる。本アワードへの応募をきっかけに過去の実績者と出会ったことも刺激になったという。大出社長が吹き込んだ新しい風が、さまざまな人を巻き込んで大きな渦になりつつある。“セカイをイノベーションでワクワクさせる。”栃木から世界に躍進する誠和。から目が離せない。



第8回 めぶきビジネスアワード



受賞プラン

ホログラフィック光学エンジン搭載レーザー 微細加工による半導体・蓄電池分野への貢献



株式会社ホロデザイン 代表取締役 長谷川 智士

PROFILE

1982年生まれ。めがねの町・福井県鯖江市出身。めがねに関わる仕事に従事していた両親の影響もあり、おのずと光学の道へ。当時、日本で唯一光学の学科があった徳島大学へ進学。趣味はロードバイク。

会社概要

2023年設立。大学発ベンチャーとして、ホログラフィによるレーザー微細加工機用装置の開発・設計・販売を手掛ける。



ホログラフィ×レーザー加工

掛け合わせから生まれた革新的技術

開発のきっかけは、光学の道を志して進学した徳島大学での恩師・早崎氏との出会い。ホログラフィ研究を専門とする早崎氏の研究室で卒業研究テーマとして取り組んだのが「ホログラフィ」を応用したレーザー加工技術だった。空間に立体的な映像を映す「ホログラフィ」の技術と半導体基板への穴あけや蓄電池の電極部の溶接などの複雑で微細な加工に必要な「レーザー加工」技術を掛け合わせることで、多点ビームを用いた一括同時加工による「高速化」を実現。さらに、微妙な振動や揺れなどの影響でレーザービームに生じた歪みを瞬時に補正する「フィードバック制御」を組み込み、レーザー微細加工の課題であった「高速」かつ「高精度」な加工を可能とした。どちらも光学の技術である「ホログラフィ」と「レーザー加工」だが、両方に精通している人材は国内にはおらず、世界的にも少ないという。DXやGXが進む中で、それを支える半導体や蓄電池などの精密機器の重要性が高まっている。なかでも精密機器は、2050年構想「超スマート社会（Society5.0）」を支える中核としてさらなる市場規模の拡大が見込まれており、同社の技術は精密機器の需要拡大に応えることができる革新的技術として社会実装への期待が高まっている。



絶えることのない探究心で栃木から世界へ

精密機器のモノづくりを革新する

2025年1月、初の試作機が大手通信メーカーに納品された。メーカーと何度も技術的議論を重ね、研究開発用途としての導入となった。「単に製品を納品して終わりではなく、お客さまの研究開発の進展を加速させる“触媒”のような存在になりたい」という長谷川社長。研究者の多くが成長ステージに応じて研究テーマを変えていく中、約20年にわたり、変わることなく卒業テーマを追い続けている。その底知れぬ探究心を原動力に、どんな革新的技術が導き出されるのか。全国屈指のモノづくり県である栃木県をはじめ、北関東には精密機器関連企業が集積しており、今後は地元企業と連携した展開にも取り組む。長谷川社長は、「地域と共に世界へ通用する製品・サービスへと育てていきたい」と力を込めた。

アワードの概要

募集対象となる事業分野

以下の成長分野等における革新的・創造的な新事業プランを募集します。

ものづくり	アグリ・フード
メディカル・ヘルスケア	ロボティクス・AI
ソーシャルビジネス	その他

新事業プラン実現に向けた一貫した支援

1. 新事業プラン構想 2. 新事業プラン作成・申込 3. 事業化・成長

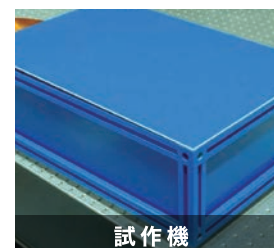
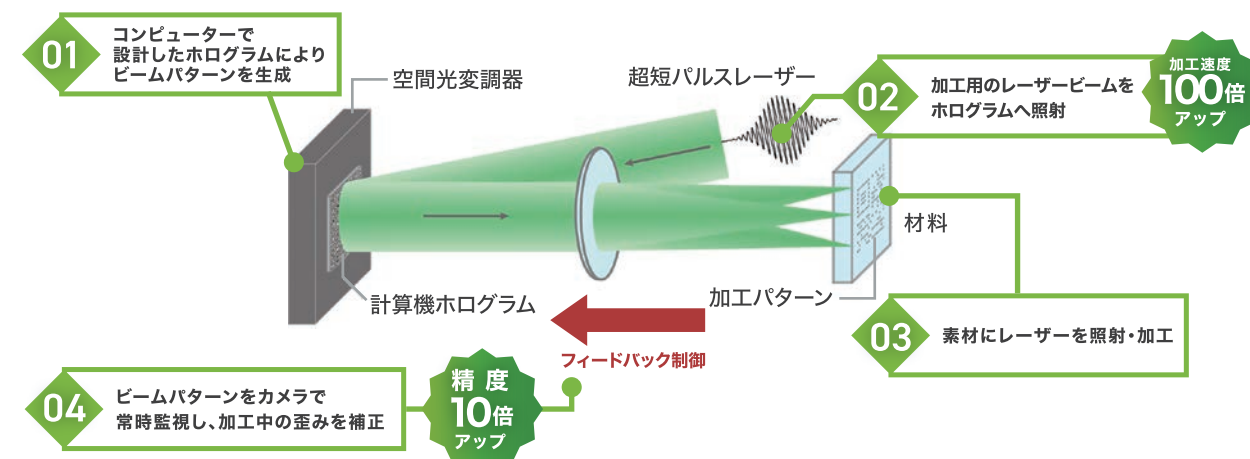
新事業プラン構想もサポートいたします。

**めぶき
ビジネス
アワード**
にて新事業プランを
評価いたします。

- 資金面でも強力にバックアップいたします。
- 経営の専門家による適切なアドバイスを全力サポートいたします。
- ネットワークをフル活用して販路開拓、技術力強化にご協力いたします。

既存レーザー技術の精度10倍、加工速度100倍を実現！ ホログラフィック光学エンジン

ホログラムで生成されたビームパターンによる多点照射にもとづく同時一括加工と、ビームパターンを常時カメラで監視し、歪みを補正する（フィードバック制御）ことで、振動や温度変化の多い環境下でも均一な精度を維持できる。



レンズ・ミラーなどの光学素子とカメラ・空間光変調器（SLM）の電子機器の一式をモジュール化。

専門知識や技術は不要！

既存のレーザー加工機に
挿入するだけ！

モジュール1台で
多様な加工ニーズに対応可能！

EPISODE

開発から社会実装へ。研究者としての成長、「死の谷」を乗り越えて。

研究開始から着実に進化を進め、2018年に日本の国際競争力を高め産業を育てるための国家プロジェクト「戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）」に採択されたことをきっかけに、社会実装へと踏み出した。しかし、社会実装への道は容易ではなかった。大きな壁となったのは「死の谷」の存在だ。アカデミアで生まれた技術を産業界へ橋渡しをする際に直面する、資金・人材・仕組みの断絶を意味する。研究成果を事業として成立する製品へと進化させるには、実験室の外で動作すること、繰り返し再現できること、製造可能な形にすることが求められる。開発用の研究設備や装置整備を持たない大学発ベンチャーである同社は、宇都宮大学や装置製造を委託している株式会社レーザーシステム（本社徳島県）との連携を土台に限られたリソースを最大限活かす仕組みを構築。長谷川社長は「社会実装するには開発した技術を正しく広める活動が不可欠。学会での継続的なアウトプットと新しい価値を創造し続けていくという、研究者としての成長と死の谷の克服が重要なポイントだった」と振り返る。

営業エリア

BUSINESS AREA



Renewal Open!

宇都宮西支店

お客さまに、より便利で快適にご利用いただくため、宇都宮西支店を次世代型店舗としてリニューアルオープンしました。



お客さまのご要望に応じてご案内します！



営業所／出張所一覧

○ファストプランチ

栃木県 宇都宮市 本店 宇都宮支店 県庁内支店 宇都宮中央支店 一条町支店 ○大谷出張所 峰町支店 雀宮支店 江曾島支店 駅東口出張所 中央市場支店 やなげ出張所 問屋町出張所 今泉町出張所 宇都宮西支店 岡本支店 インターパーク支店 清原出張所 宇都宮市役所支店 戸祭支店 宇都宮東支店 宇都宮北出張所 パスカル支店 振込第一支店	本店ブロック個人営業部 宇都宮中央ブロック個人営業部 宇都宮南ブロック個人営業部 宇都宮東ブロック個人営業部 宇都宮西ローンセンター 宇都宮東ローンセンター インターパークローンセンター	○赤見出張所 田沼支店 葛生支店 佐野ブロック個人営業部 佐野ローンセンター	栃木市 栃木支店 新栃木支店 藤岡支店 大平支店 栃木西支店 ○都賀支店 ○岩舟支店 栃木ブロック個人営業部	河内郡 上三川支店	足利市 足利支店 東支店 ○六丁目支店 葉鹿支店 足利市場出張所 ○足利南支店 足利ブロック個人営業部	下都賀郡 壬生支店 おもちゃのまち支店 獨協医大出張所 野木支店 壬生ブロック個人営業部	小山市 小山南支店 小山東支店	犬塚出張所 小山支店 小山市役所出張所 間々田支店 小山北出張所 小山ブロック個人営業部 小山ローンセンター	下野市 小金井支店 石橋支店 自治医大出張所 南河内支店 下野ブロック個人営業部	日光市 今市支店 日光支店 足尾支店	鬼怒川支店 ○大沢出張所 日光ブロック個人営業部	塩谷郡 宝積寺支店 塩谷支店	さくら市 氏家支店 喜連川支店 さくらブロック個人営業部	矢板市 矢板支店 矢板塩谷ブロック個人営業部	那須塩原市 塩原支店 西那須野支店 黒磯支店 黒磯西出張所 那須塩原駅前出張所 西那須野ブロック個人営業部 黒磯ブロック個人営業部	那須烏山市 烏山支店	那須郡 黒田原支店 那須出張所 馬頭支店	大田原市 大田原支店 ○黒羽支店 大田原南出張所 大田原ブロック個人営業部 大田原ローンセンター	真岡市 真岡支店 真岡西出張所 ○久下田支店 真岡ブロック個人営業部	芳賀郡 茂木支店 芳賀支店 益子支店 ○市貝支店 芳賀ブロック個人営業部	群馬県 桐生支店 新宿支店 館林支店 太田支店 太田南出張所 伊勢崎支店 桐生市場支店 大泉支店 前橋支店 前橋東出張所 渋川支店 高崎支店 群馬第1ブロック個人営業部 群馬第2ブロック個人営業部 東群馬ローンセンター 前橋ローンセンター 高崎ローンセンター	埼玉第1ブロック個人営業部 埼玉第2ブロック個人営業部 川越支店 桶川支店 白岡支店 春日部支店 熊谷支店 本庄支店 深谷支店 秩父支店 行田支店 羽生支店 加須支店 熊谷ローンセンター さいたまローンセンター 川越ローンセンター	茨城県 水戸支店 下館支店 結城支店 古河支店 古河東出張所 総和支店	つくば支店 古河野木ブロック個人営業部 つくばローンセンター	福島県 郡山支店	東京都 東京支店 王子支店 品川法人営業所	海外 香港駐在員事務所 バンコク駐在員事務所
---	---	--	---	---------------------	---	--	------------------------------	--	--	------------------------------------	--------------------------------	-----------------------------	--	-------------------------------------	---	----------------------	--------------------------------------	--	---	--	---	--	--	---	--------------------	---------------------------------------	-------------------------------------

平日夕方や土日のご相談も可能に！

本店ブロック個人営業部（宇都宮西支店内）の
ご相談時間拡大

受付時間	
平日	9:00~20:00 (最終受付19:00)
土日	10:00~18:00 (最終受付16:00)

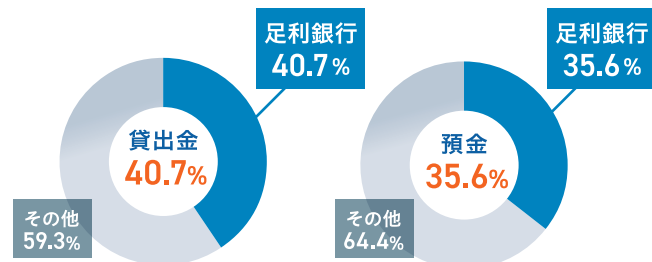
※土日は月4日営業（第1・3日曜日と第2・4土曜日）
 ※平日15:00以降および土日は、予約制となります。
 ※祝日、年末年始、GW除く

ご予約はこちら>>





栃木県内シェア



※ 金融ジャーナル2024.11増刊号より作成
※ シェアは、2024年3月末のデータとなります

株式会社 足利銀行

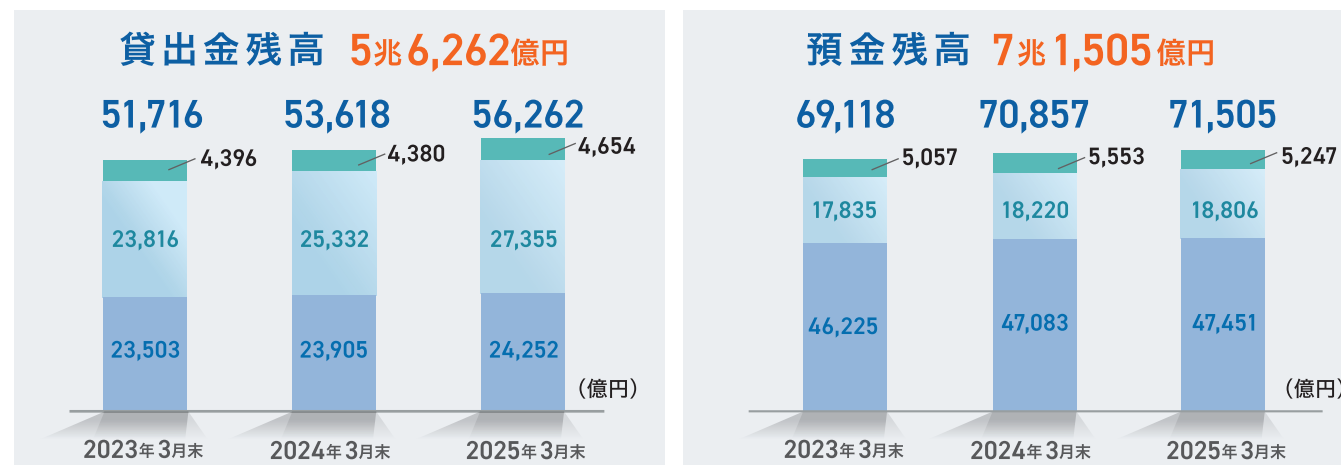
創 業 1895年 10月 1日
本 店 栃木県宇都宮市桜四丁目1番25号
資 本 金 1,350億円
格 付 A+（格付投資情報センター）

企業理念

存在意義「豊かさの創造に寄与する」
経営姿勢「地域と共に生きる」
行動規準「誇りと喜びをもって行動する」

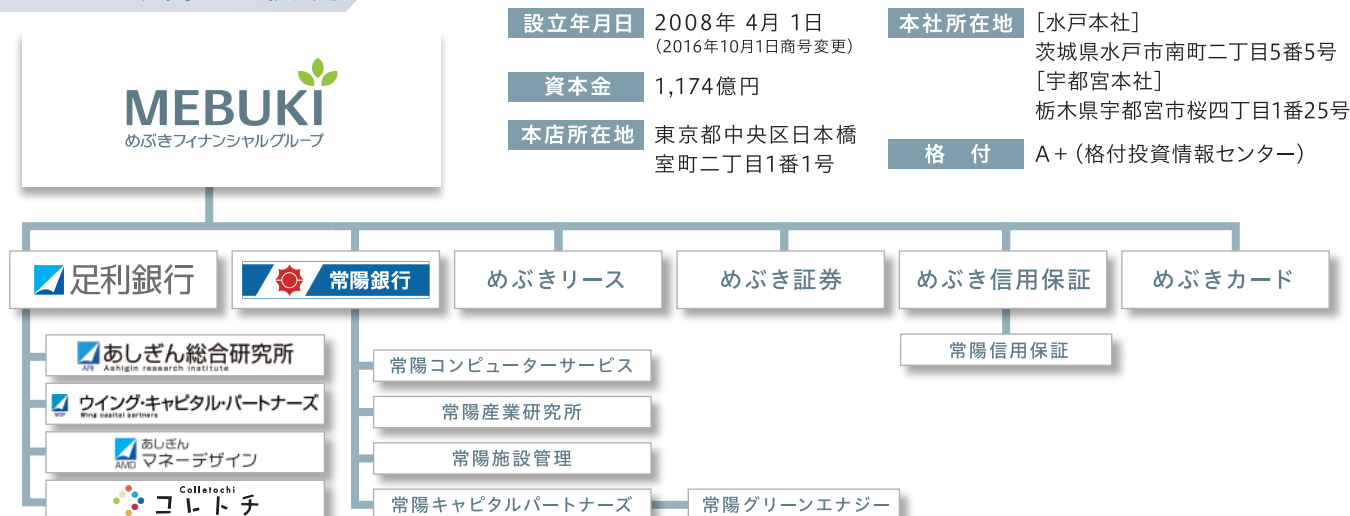
貸出金・預金残高

■ 公共 ■ 法人 ■ 個人



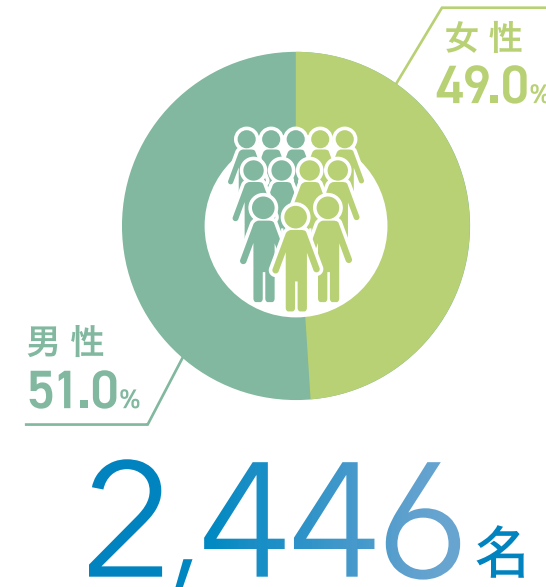
※ 財務省・特別会計借入金を含んでおりません

グループ会社の状況



（2025年3月末現在）

従業員数



※ 嘱託および臨時従業員ならびに執行役員を含んでおりません

平均有給休暇取得日数

13.2日



ビジネスマッチング
件数



1,679件

新卒採用人数

130名

事業計画策定支援件数

311件



キャリア
採用人数

60名



SUSTAINABLE

サステナブルファイナンス
成約件数・実行額

3,900件
2,165億円

CO₂排出量削減率

56.7%

（2013年度比）



あしぎん

SNS 公式アカウント

SNSを通して足利銀行や地域の魅力、お役立ち情報などを楽しくお届けしています♪

ファミリーで楽しめる
コンテンツを配信中！



＼まずはチャンネル登録／
【足利銀行 公式チャンネル】
あしぎんボカボカ映像部

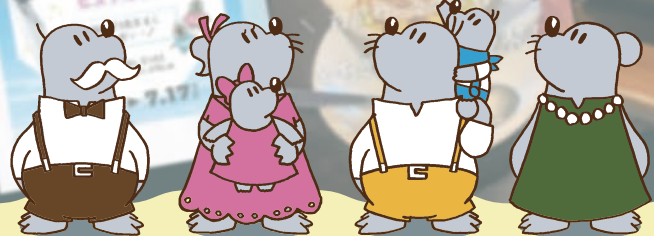


instagram

ママナン銀行員による
日常・グルメ・注目スポットなど
ローカル情報満載♪



＼フォローして投稿をチェック／
@ashigin_official



パスカル&ファミリーもよろしくお願いします！



《 LINE・X(旧Twitter)でも
あしぎんの情報を配信中！